

現在の地区の取り組み

- 在宅高齢者等給食サービス事業
- 一人暮らし高齢者のつどい事業
- 世代間交流事業
- 地区別福祉懇談会
- 友愛訪問事業
- 年末年始見守り事業
- グランドゴルフ
- 福祉カード
- 清掃活動
- 納涼祭
- 体育祭
- もちつき大会
- 伝承遊び
- 大東福祉チャリティーゴルフ
- 大東ふれあいマラソン&ウォークソン大会
- 介護予防体操教室、はつらつ体操
- 安全安心パトロール、防犯パトロール



一人暮らし高齢者の集い事業



体育祭



納涼祭



大東ふれあいマラソン&ウォークソン大会

福祉施設等の地域資源

- ①大東保育園
- ②まきば保育園
- ③あおぞら保育園
- ④あゆみ保育園
- ⑤にこにこ保育園
- ⑥ありす保育園
- ⑦あしたば保育園

- ⑧八瀬の里(デイサービス八瀬の里)
- ⑨医療法人真正会ケアラウンジ南大塚
- ⑩めぐみデイサービスセンター
- ⑪あぜ道
- ⑫ひまわり
- ⑬デイサービスセンター 遊・川越南大塚
- ⑭りはびりの樹デイサービス
- ⑮茶話本舗デイサービス川越・2号館
- ⑯愛の家グループホーム川越大塚新町
- ⑰ことぶき生活支援センター



- ⑱あさがお川越
- ⑲ラクダ

- 自治会数……………21
- 自治会集会所数……18
- 自主防災組織数……20
- 民生委員数…………40
- 保健推進員数…………10
- ボランティア団体数…9
- NPO団体……………6
- 老人クラブ……………11
- 病院……………1
- 一般診療所……………8
- 歯科診療所……………11



大東地区福祉プラン

地区の特徴

市の南西部に位置し、狭山市に隣接しています。

昭和41年に川越狭山工業団地・住宅団地の造成、昭和46年に関越自動車道開通、昭和63年に埼玉総合地方卸売市場の建設等により、農業地域から工業地域へと大きく変貌しました。また、首都圏のベッドタウン化に伴い、人口の増加が著しくなっています。

地域住民の状況

	大東地区	川越市
●人口	34,467人 (前年比0.05%増)	346,739人
●世帯数	14,158世帯	145,904世帯
●高齢化率	21.2%	22.3%

※平成25年1月1日現在



地区の活動目標

目標1 地域住民のつながりを深めよう

目標2 地域福祉活動に参加しよう

目標3 地域での見守り体制を充実させよう



エリアミーティングであげられた課題

- ◇近所付き合いが少なくなっている
- ◇一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯が増えている
- ◇高齢者の交流の場や機会が少ない
- ◇団体役員等の担い手が不足している
- ◇障害者に対する理解や支援が少ない
- ◇地域住民のマナーが低下している
- ◇情報共有ができていない
- ◇子どもが安心して外で遊べる場所がない

● 地域の交流を進めます

具体的な取り組み

- ▶ 地域住民が気軽に集える場所を多くつくります。
 - ① 自治会の班長は班で集まる機会を作るよう工夫します。
 - ② 自治会や民生委員が中心になって、高齢者が毎月1回は集まれる場所（お茶のみ場、話し相手づくりの場）をつくります。
 - ③ 自治会と住民が連帯して、地元行事に参加することにより、交流がはかれるように互いに参加への誘いをかけます。
 - ④ 自治会が中心となって、公園や道路の清掃などを細かく呼びかけ共同作業を行います。
- ▶ 地域住民同士が日頃から交流の機会を持てるよう、回覧板をなるべく手渡すようにし、各班の顔合わせ、隣同士での声かけ等、日常的あいさつ運動等を推進していきます。
- ▶ 自主防災組織は、地域の情報（例、家族構成年令、健康状態等）を集約して共有し、定期的に情報交換、交流の為に会合をする事により、相互の親近感を育て、親善を図ります。
- ▶ 学校との交流行事として、子供達からお年寄りに手紙を書いたり、お年寄りから子供達に昔の遊びを教えたりといった世代間交流事業を継続して進めていきます。
- ▶ 障害者を対象にした行事の実施を検討していきます。

● 地域活動の担い手を育てよう

具体的な取り組み

- ▶ 地域活動（地区社協活動等）への協力者を育てます。
 - ① 高齢者の支援体制を構築するために、高齢者1人に4~5名の援護者（見守りボランティア）を募集します。
 - ② 各自治会で福祉活動と位置づけして新たにボランティアを公募しスタートさせます。のちに大東市民センター（仮称）の中に福祉活動グループの拠点を作り、連携を取り、活動の充実を図ります。
- ▶ 登校、下校、休日の折に子どもを見守る等、子どもサポート活動を広めることを心がけます。

● 要支援者を地域で支えていきます

具体的な取り組み

- ▶ 見守り活動を充実させます
 - ① 独居の家庭等の洗濯物や雨戸の開閉など、地域全体でさり気ない見守り活動に取り組みます。
 - ② 自治会が民生委員と連携し、見守り活動を行います。
 - ③ 障害者を含めた要支援者の把握のために、マップづくり等を進めていきます。
 - ④ 老人会は、会員以外の気になる高齢者に声かけをします。
 - ⑤ 大東地区独自の「福祉カード」の普及を図ります。
- ▶ 高齢者の地域活動への参加を推進します。
 - ① 地区社協は、地域に住む高齢者1人ひとりのニーズに合った行事（ゲートボールやカラオケ等）を継続して実施します。
 - ② 近所の高齢者同士、普段から声をかけ合う機会をつくり、地域活動への参加者を増やします。
 - ③ 自治会は、地域に近い集会場を設置、また、既存の集会所を拡充して集まる場所を作ります。
- ▶ 地域に関係のある様々な情報が住民に届くように工夫していきます。



大東地区エリアミーティングの経緯

- ▶ 第1回 平成22年7月1日(木)南文文化会館 30名
- ▶ 第2回 平成22年9月24日(金)大東公民館 24名
- ▶ 第3回 平成23年11月29日(火)大東公民館 45名
- ▶ 第4回 平成25年2月8日(金)大東公民館 45名

